

2021年度
第1回 理事会議事録

2021年 5月 20日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2021年度 第1回理事会議事録

1. 日 時 2021年 5月 20日 (木) 14:00~16:00
2. 場 所 本議場= 鉄鋼会館 704号室
(本議場に参加しない理事及び監事はオンラインにて参加)
3. 構 成 員 16名
4. 出席構成員 14名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議 事 次 第
 - (1) 開会の辞
 - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
 - (3) 会長挨拶
 - (4) 前回理事会議事録の確認
 - (5) 審議事項
 - 第1号議案 2020年度 事業報告及び決算承認の件
 - 第2号議案 2021年度 正会員会費額承認の件
 - 第3号議案 第54回通常総会招集及び議案承認の件
 - (6) 報告事項
 - 1) 2020年度 事業報告等に係る監事による監査実施について
 - 2) 退任理事に対する感謝状、記念品等の贈呈について
 - 3) 委員会等活動状況報告
 - ①技術委員会
 - ②事業継承対策WG
 - ③ホームページ改造WG
 - ④採用ポスター作成WG
 - 4) その他 ・総会の開催・運営要領について
 - (7) その他の定例報告事項
 - 1) 構成員登録状況
 - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
 - 3) 主要会議日程
 - 4) 支部報告
 - (8) 閉会の辞

6. 議事要旨

(1) 開会の辞

進行役の辰巳専務理事より開会する旨が告げられた。

(2) 定足数確認報告

辰巳専務理事より、理事総数 16 名のうち、多和田、神崎 両理事が欠席のため、本理事会は出席理事 14 名であるが、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされており、また、監事は 3 名全員が出席されている旨、報告された。

(3) 会長挨拶

米森会長より「新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回も対面での開催が叶わず、このようにオンライン併用での開催となり残念ではあるが、社内で感染者が出ている構成員もあるようなので、十分気を付けて行動していただきたい。オンライン会議ではいくつかの制約があるので、早く対面で開催できるようになって欲しいと願っている。本日はこの形ではあるが、総会に向けた議題もあるので、ご審議方よろしくお願ひします。」との挨拶があった。

(4) 前回理事会議事録の確認

辰巳専務理事が要点を読み上げ、確認、了承された。

(5) 審議事項

1) 第 1 号議案： 2020 年度 事業報告及び決算承認の件

「2020 年度 事業報告」について、議案書[理 21-1-議 1] (p3-27)に基づき、事業の全体概況、会員の状況、役員・職員の状況、会議開催状況等は辰巳専務理事より、個別事業の実施状況は平井総務部長及び高野技術部長より説明された。

以上の説明に対する意見、質問等はなく、原案通り承認され、6 月 11 日開催予定の第 54 回通常総会に付議することが確認された。

次に、「2020 年度 決算」について、貸借対照表、正味財産増減計算書、予算との差異、及び公益目的支出計画実施状況が、議案書[理 21-1-議 1] (p28-40)にそって、平井総務部長及び高野技術部長より説明された。

説明の要点は以下のとおり。

○貸借対照表

- ・ [流動資産]のうち「現金預金」は、2020 年度収支差が黒字になったことなどにより対前年度比約+68.8 百万円増加し、約 436.8 百万円となった。「郵便貯金」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、検査技術者の実技講習会の一部が 2021 年度に延期となったため、支払われた受講料が前受金となり、「郵便貯金」口座に 15,488 千円残ったものである。「仮払金」の 781 千円は、同様の理由で検査技術者の実技講習会の一部が 2021 年度に延期となったため発生した。

- ・〔固定資産〕のうち「給与引当資産」は、職員の将来の退職時の支払い準備のため積増しを行ったことにより+6,135千円増加し、97,740千円となった。「建物付属設備」、「器具及び備品」は、事務所2階への引越にともなう間仕切り等の内装工事、電話工事等の償却をすすめたことにより減少し、各々「9,646千円」、「1,240千円」となった。「ソフトウェア」は、検査管理システムの償却等により▲7,582千円減少し17,933千円となった。
- ・その他科目で若干の増減があり、正味財産合計額は、対前年度比約+59.1百万円増加し、約853.0百万円となった。

○正味財産増減計算書

- ・経常収益は約357.8百万円〔対予算▲35.6百万円減〕、経常費用は約298.6百万円〔対予算▲94.5百万円減〕で、当期経常増減額は+約59.2百万円増〔対予算+59.0百万円増〕となった。
- ・予算との差異内訳は、経常収益、経常費用各々議案書(p39)に記載されたとおりである。

○公益目的支出計画実施状況

- ・2020年度末の公益目的財産残額は144.8百万円で、計画を超過達成しており順調に進捗している。

以上の説明に対する異議等はなく、原案通り承認され、第54回通常総会に原案のまま付議することが確認された。

2) 第2号議案：2021年度正会員会費額承認の件

会費規程に定める正規額から10%減額した単価を前提に、4月1日時点のグレード別構成員数を乗じて算出した各正会員の2021年度年会費額が、議案書〔理21-1-議2〕(p41)により提示された。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認され、第54回通常総会での承認後、本金額を各正会員宛てに請求することが確認された。

3) 第3号議案：第54回通常総会招集及び議案確認の件

第54回通常総会の招集に関し、議題、開催日時、場所、審議事項、議決権行使の方法等について、議案書〔理21-1-議3〕(p43-49)にそって、辰巳専務理事から説明された。また、5月上旬に行った会員代表者に対する「表決方法の事前確認」の結果、三役以外で議場にて表決する予定は4名のみで、これも新型コロナウイルス感染状況により変動する可能性があることが補足された。

本案に対する意見、質問等はなく、原案通り承認され、総会開催日の14日前にあたる5月28日までに、本招集通知及び議案書を全会員宛てに発送することが確認された。

(6) 報告事項

1) 2020 年度 事業報告等に係る監事による監査実施について

2020 年度事業報告及び決算書類に関し、村上監事は協会事務局において、野田、高橋両監事は感染防止のため各々の勤務地において、監査を実施し、「事業報告、決算、公益目的支出計画実施報告 とともに適正に行われている」ことが確認され、問題指摘はなかったことが、議案書[理 21-1-報 1] (p51-52)にそって村上監事より報告された。

2) 退任理事に対する感謝状、記念品等の贈呈について

6 月 11 日開催予定の第 54 回通常総会の終結をもって退任される神崎理事に対して、表彰規程その他関連規程にしたがって感謝状及び記念品を授与する旨議案書[理 21-1-報 2] (p53-54)にそって 辰巳専務理事より報告され了承された。

3) 委員会等活動状況報告

①技術委員会

4 月 14 日に開催された技術委員会の概要について、議案書[理 21-1-報 3 ①] (p55-58)にそって井原委員長より以下のとおり報告された。

- ・溶接ヒューム規制関連事項として、技術委員の 4 工場で先行実施した濃度測定の結果を全構協のホームページに掲載したのでご覧いただきたい。
- ・「測定費用の補助」「フィットテスト実施者に対する教育」等 厚労省が発表している諸施策に関する情報もホームページで案内しているのでご覧いただきたい。
- ・コラム半自動溶接の溶接施工実験について、神戸大学及び兵庫県組合と協力して実施しているところであるが、コロナ禍の中で制約が多いため、当初計画以上に時間を要している。

②事業継承対策WG

5 月 13 日に開催された事業継承対策WGの概要について、議案書[理 21-1-報 3②] (p59～)にそって出雲リーダー及び事務局より以下のとおり報告された。

- ・構成員の事業継承に対する問題意識の実態を把握するため、比較的回答が容易であると考えられる 4 項目（議案書 p59 IV-(3)①～④）を、例年 10～11 月頃実施している「構成員企業の業績実態調査」の設問に加え、調査時期を 7 月頃に早めて実施する前提で、アンケートの具体的内容について次回WGで精査する予定である。

③ホームページ改造WG

同WGの担当テーマの進捗状況について、渡辺リーダー及び事務局より以下のとおり報告された。

- ・前身の「品質管理委員会」から引き継いだ「全構協ホームページでの工場詳細情報公開」に関して、システム改修方法及び運用方法の検討に際して、公開対象工場数を事前把握する必要があるため、アンケート調査（議案書 p60-63

参照)を実施したい。

- ・採用ポスター作成WGが作成した業種紹介ポスターに記したQRコードから誘導するランディングサイト(スマートフォン、パソコン等で閲覧できる鉄骨製造業の概要説明を掲載したサイト)の内容は、議案書 p64~68 のとおりである。

上記のうち「全構協ホームページでの工場詳細情報公開」に関し、「資本金」を掲載する目的、意義について質問があり、前身の「品質管理委員会」の委員長を務めた永井副会長より「品質委員会での検討の中で、会社規模を示す指標の一つとして掲載する案が出され、それがそのまま残っているものであり、現WGで改めて掲載の必要性を判断すれば良い。」との説明があり、現WGメンバーで再検討の上判断することとした。

④採用ポスター作成WG

同ポスターの作成進捗状況及び配布方法について、寺田リーダー及び事務局より以下のとおり報告された。

- ・前回の理事会(2020年度第5回<3月18日開催>)において最終デザイン案作成をWGに一任していただいたことをうけて、WGで最終デザイン案(議案書 p69 参照)を作成し、4月9日の三役会で確認・了承していただいた。現在、印刷中で6月上旬の納品後速やかに学校等への配布に取掛りたい。
- ・具体的配布先の選定及び配布方法については、各正会員(各県組合等)において実施いただくこととし、本理事会で了承いただければ、各正会員宛に依頼文書(議案書 p71-73)を発出したい。

上記の説明に対する意見・質問等はなく、原案通り各正会員宛に依頼文書を発することとした。

4) 総会の開催・運営要領について

6月11日に開催予定の第54回通常総会の開催・運営要領について、議案書[理 21-1-報 4①](p75)にそって辰巳専務理事より説明された。また、新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの会員は書面表決を行い議場への出席者はごく少数となる見込みであることから、議長は大島副会長、議事録署名人は永井、山本両副会長にお願いする旨 補足説明された。

(7) その他の定例報告事項

1) 構成員登録状況

2021年3月31日時点の構成員数は、2,197社であること等が、議案書[理 21-1-他 1](p77-80)により事務局から報告された。

2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2021年3月の鉄骨推計需要は約37.9万トン(前年同月比2.9%増)で、2020年度合計は411.5万トン(前年度比9.9%減)となったことが議案書[理 21-1-他 2](p81)により事務局から報告された。

3) 主要会議日程

議案書[理 21-1-他 3] (p82)により各自で確認された。

4) 支部報告

〔北海道〕

- ・コロナ禍の影響で支部活動はほとんどできていない。
- ・4月22日に鉄骨部会役員会を開催した。5月14日開催予定であった総会は、書面表決により行った。
- ・手持工事量、稼働率、見積件数とも、具体的数字は議案書記載のとおりで、数か月前より改善傾向にある。
- ・鋼材を含めて材料価格が上昇傾向にある中で、ゼネコンの指値が厳しくなっており、今後の価格交渉が厳しくなることを懸念している。

〔東北〕

- ・4月21日に役員会を開催した。総会は、6月2日に各県理事長のみ参加で、対面方式で開催する予定である。
- ・手持工事量、稼働率、見積物件数は、前回報告時から大きな変化はない。
- ・価格は、弱含みである。
- ・鋼材のみならず副資材を含め材料費が値上がりしており、同時に納期も長期化し、入手が困難になっている。
- ・今年末から来年にかけて大型物件が発注される見込みであるが、大手ゼネコンの一部は海外ファブに発注するとの話もあり、地元ファブを活用するよう営業を強化する必要がある。

〔関東〕

- ・3月22日に支部の運営委員会を、3月30日に支部会を、各々高崎で開催した。
- ・4月の運営委員会、支部会は新型コロナウイルス感染状況が悪化していることに対応し、オンラインで開催することにした。
- ・鋼材の値上げ、納期長期化の中で、ゼネコンの指値が低下し、板挟みで苦しんでいる旨各県から報告されている。特に、中小ゼネコンの競争激化にともなう価格下落の皺寄せで、Mグレード以下のファブが苦しめられている。
- ・見積物件数は、数か月前に比べると若干増加しているが、手持工事量の大小の二極化が拡大している。
- ・工場の性能評価の審査前に、資格保有社員またはその家族が新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者に指定されるなどの影響で、審査の延期が余儀なくされた事例が発生しており、認定更新に支障が出ないか、懸念事項になっている。

〔北陸〕

- ・コロナ禍のため支部活動は滞っているが、来月には支部会を、感染拡大状況に応じた方法で開催する予定である。
- ・各県の活動も停滞しているが、総会については各々、何らかの方法で開催する。
- ・新規見積物件は、徐々にではあるが出つつあり、ゼネコン同士のたたき合いも多少落ち着きつつあるようだが、価格の弱含み状態は続いている。

- ・手持仕事量は、Mグレード以下も含め、秋ころまでの仕事を確保しているが、その先の不安は消えていない。

〔中部〕（多和田理事が欠席のため、大島副会長から報告された）

- ※冒頭、元中部支部長で、愛知県組合の石原専務理事・事務局長が、5月に病気のため他界されたことが報告された。
- ・新規見積物件数は、1～3月は少なかったが、4月以降若干増えている。ただ、同一物件を複数のゼネコンが見積依頼することによる“見かけ現象”という見方もある。
- ・鋼材、溶接ワイヤー等の値上げの中でゼネコンの指値が続いているという厳しい状況ではあるが、各ファブとも安い指値に応じることなく耐え忍んでいる。
- ・R、Jグレードでは、手持工事が枯渇したファブも散見されるが、上位ファブの2次下請けで凌いでいる。Mグレードは、二極化が進んでいる。Hグレードは、ほとんどが1年程度の手持工事を確保している。
- ・認定工場の更新のための審査が、コロナ禍のため先延ばしになった昨年度分と今年度分が団子状態になっているため、事務局は多忙を極めている。

〔近畿〕

- ・3、4月は、各県とも理事会、委員会等をWebも活用しながら開催した。
- ・5月に予定されている各県組合の総会は、書面表決の活用等で出席人数を絞るなど工夫しながら開催する準備を進めている。
- ・3月25日に支部会と事務局長会議を開催した。次の支部会は6月25日に対面方式で開催する予定である。
- ・手持仕事量は、Hグレードは6～12ヶ月、Mは2、3ヶ月～6ヶ月、R、Jは1～3ヶ月程度である。稼働率は60～100%程度。見積物件数は普通程度である。
- ・価格は弱含みながら大きな下落には至っていない。
- ・懸念事項は、ゼネコンの指値の低下、鋼材等材料の値上げと調達難である。
- ・理事会議案書の支部報告に記載されている工場加工費(価格)を基にした単価が市場価格として某業界紙に掲載されていることが指摘されたことを受けて、情報管理の厳格化を図ることとした。

〔中国〕

- ・広島、岡山両県で新型コロナウイルス感染が急拡大しているが、その前の4月20日に支部会を開催した。
- ・仕事量は少なく、Hグレードでも企業間格差が広がっている。
- ・秋ころには発注物件が増えるとの情報があり、それに期待している。

〔四国〕

- ・新型コロナウイルス感染が急拡大しており、組合活動は停滞気味である。
- ・仕事量は極めて少ない。Hグレードはなんとか稼働を保っているが、M以下はHの2次下請けで凌いでいる。
- ・ゼネコンの過当競争の皺寄せで、指値も下がっている。

〔九州〕（神崎理事が欠席のため、永井副会長から報告された）

- ・4月21日に支部会を対面で開催し、併せて全構協三役との意見交換を行った。4月9日には、事務局会議をオンラインで実施した。6月9日開催予定の総会

はオンラインで行う。

- ・秋以降、博多駅周辺、天神地区、福岡空港周辺の各再開発事業関連の物件が発注されるとの期待はあるが、コロナ禍の中で延期になるとの話も出ており楽観はできない。
- ・ファブ間格差が拡大している。地場の中小物件を主にしているファブは特に苦しんでいる。商社の取扱い物件では価格の下落も目立っている。

※ 4月1日付で入職した新村・技術部担当部長が紹介された。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

出席者名簿

<u>役 職</u>	<u>氏 名</u>	<u>出席形態</u>
会 長	米 森 昭 夫	議 場
副 会 長	永 井 毅	議 場
〃	大 島 嗣 雄	議 場
〃	山 本 泰 徳	オンライン
専務理事	辰 巳 功	議 場
常務理事	大 橋 利 勝	議 場
理 事	佐 藤 正 記	オンライン
〃	渡 辺 勝	オンライン
〃	大 竹 良 明	オンライン
〃	寺 田 健 信	オンライン
〃	出 雲 津 芳	オンライン
〃	福 田 秀 章	オンライン
〃	井 原 常 裕	オンライン
〃	齊 藤 眞	議 場
監 事	村 上 眞 樹	議 場
〃	野 田 博 文	オンライン
〃	高 橋 伸 和	オンライン

理事総数 16名 うち出席者 14名〔欠席：多和田桂太郎、神崎隆一〕

監事総数 3名 うち出席者 3名